

# ゆいはまにあ

2019年12月20日発行

## 湯梨浜町観光協会

〒682-0715 鳥取県東伯郡湯梨浜町はまの温泉 5-22

TEL(0858)35-4052 FAX(0858)35-4701

H P <http://www.yurihama-kankou.jp/>

F B <https://www.facebook.com/yurihamakannkou>

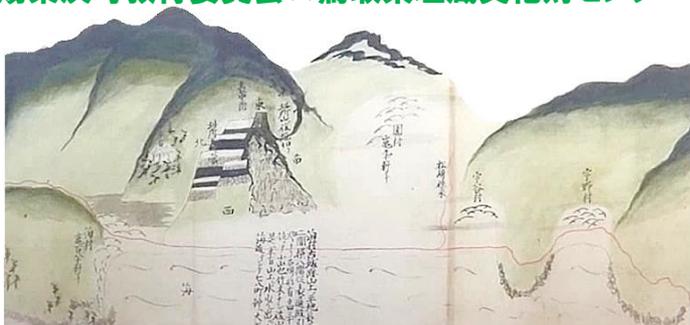
湯梨浜町観光協会  会員募集中!!

## 戦国時代の遺構 河口城を訪ねる

## 河口城ウォーク

湯梨浜町教育委員会×鳥取県埋蔵文化財センター

■鳥取県埋蔵文化財センターでは年間を通じて歴史に関する様々なイベントが開催されており、11月30日(土)湯梨浜町教育委員会も協賛し、湯梨浜町泊地区にある河口城の歴史を辿りながら歩く「河口城ウォーク」が開催されました。泊(湯梨浜町泊)は、その昔因幡の国と伯耆の国を結ぶ交通の要衝であり、古代から駅馬が置かれ、多くの旅人が行きかう宿場町として大変栄えたところです。また、泊港は自然の良港で船溜まりとして用いられ徐々に整備されていきました。港のすぐ近くには切り立った山がそそり立ち、泊に立ち寄った武将たちはこの要害の地に即座に目をつけ



お城を築いたのでした。「河口城」とはいったいどんなお城だったのでしょうか。参加した52名は、2班に分かれ泊野球場を出発して河口城跡を目指しました。まずは歩きやすい舗装された道路を進み、冬の植物を楽しみながらウォーキング。歴史担当は埋蔵文化財センターの職員さんにお任せするとして、参加者の中には植物や泊の地形に詳しい方がおられ、会話をしながら3割増しでウォーキングを楽しむことができました(\*>v<\*)植物を観察しながら歩いていると「あれ、アケビ?」山の斜面の緑のつるの先に赤紫の実が♪「あれはアケビじゃなくて ムベという果実だで」一見アケビにそっくりの「ムベ」はアケビと同じく食べられるとのこと。アケビ科ムベ属のツル性植物で、葉は掌状複葉(しょうじょうふくよう)といって、指を開いた手のひらのような葉が幼木の時には3枚、成長して5枚に、果実ができる頃には7枚となり「七五三の縁起木」といわれ、無病長寿の霊果という言い伝えがあるそうです。「これは是非とも食べてみたい!」ということで、帰り道にいただくこという小さな楽しみを胸にさらに進んでいきました。

お城の立て看板地点に到着。埋蔵文化財センターの職員さんから大まかな説明を受け、道路から分かれた坂道を下っていきました。ここからは多少の山道。だからといって険しくもなくとても歩きやすい。積もった落ち葉の上をサクサク音を立てて歩いていくと、青空と紅葉した木々とのコントラストが美しい“穴場スポット”が突然現れました。「キレイ! 何て見晴らしが良いのでしょうか。こんな場所があったなんて」さらに進むと、河口城跡という標柱が見えてきました。いよいよよか!

河口城は標高68mの丘陵地山に建てられた山城で、主郭の幅は15m~26m、横が60mあり、石積みも確認することができます。北は絶壁となつて海に迫り、目の前に泊漁港があります。また、南東部には土塁、堀切が存在し切り立った崖となっています。南北朝期の建武4(1337)年、伯耆の守護職に任ぜられた山名伊豆守時宗は、国固めとして国内の軍事、交通の要所となる場所に堅城を築きました。東の端 因伯の国境近くに築いたのが河口城です。河口城は、守護家に近い山名一族が城を守っていましたが、刑部大輔久氏の世の大永4(1524)年5月、出雲の尼子氏による伯耆侵攻を受け久氏は追放され、河口城には尼子誠久が入りました。



▲左旧泊村の村花 葉がフキに似て光沢があることからツツブキが転じてツツブキになったといわれる  
▲右よく見かけるヤブツバキではなかった。只今調査中!!

天文15年(1546)年には武田国信と南条宗勝らの攻撃で落城し、再び久氏が入城しましたが、尼子氏の攻勢で再び退去を余儀なくされました。永禄(1560年代)の頃には伯耆一円は毛利氏の制圧下に置かれ、河口城には再び久氏が入りました。そうした中、天文7(1579)年に南条氏が毛利方から離反し織田方に属すと、河口城は毛利方拠点となり織田方の攻撃目標となりました。南条氏は幾度となく河口城の攻略を試みましたが落とすことはできませんでした。その後、天正9(1581)年9月、羽柴秀吉が鳥取城を包囲する中、松井康之率いる水軍が海から河口城を襲い、泊浦(現在の泊漁港)の警固船65隻を含む城下もろとも焼き払いました。豊臣政権下の天正12(1584)年には、羽衣石南条四万石の領地となりましたが、慶長5(1600)年の関ヶ原の役で南条氏は大坂方西軍に味方し大敗。その没落とともに河口城も廃城となりました。

(掲載/広報ゆりはま 湯梨浜今昔物語 町教育委員会 尾川伸弘氏)  
まずは主郭部分にあたる急斜面の切岸を下から見上げてみました。なるほど、さすがにここから登るのは容易ではありません。(((;°Д°))) 上から敵の侵略を見張り、時には石や槍を投げ込んだりして防衛にあたっていたのでしょうか。



そして標柱の入口から少々急な坂道を上ると、ついに到着 河口城跡！広い(° □ °) 敷物を敷いてお弁当でも食べたい口ケーションです。当時の面影を残す石垣や大木、大岩以外のは撤去され、キレイに整備されていました。参加者は自由散策し思い思いに歴史を辿りました。城門の跡ではないかと推測される大岩(左)をはじめ、しっかりと残る石垣もいつの時代のものなのか、まだ明らかにされていないということです。ぐるり外周を歩いてみると、木々の隙間から日本海、泊漁港が見えました。まさに海城です。日本のお城は「山城」「平城」「平山城」に分けられ、かつて日本に現存したお城の数は2万5千ともいわれています。立派な天守閣がある有名なお城が残る中で、この伯耆の地に築かれた河口城が当時どのように戦場として生かされていたのか、武将のこだわりや特徴、仕掛けなどが発見できればもっと興味深く探索できるのになあ。今後に期待したいところです(\*>.<\*)

帰り道、長めの木を杖にしてお楽しみの「ムベ」地点、思いのほか持ち帰った木が短くてツルまで届かない〜。格闘すること数分(°\_°・°ω°)やっと思いついたかと思ったその瞬間、ピチャ！！という音とともに果実が落下。それでも記念に葉と果実を持ち帰り、無事伝説の「不老長寿の薬効」を手にすることができました(°\_°)。初めての河口城、興味深く楽しく参加することができました。2回目、3回目登ればそれぞれに気づきがあるはず。ぜひ次回も挑戦したいと思います。

## 泊の海で大きくなあれ ワカメの種付け体験

### 湯梨浜町立泊小学校3年生 総合的な学習

■12月11日(水)泊小学校3年生が、身近な生活の中から課題を見つけ学ぶ「総合的な学習」の中の“体験学習”として「ワカメの種付け体験」が湯梨浜町泊 荷捌き所にて行われました。荷捌き所では、小学生が作業しやすいよう低い位置に端からロープが張られ、ワカメの種糸をスタンバイ。朝9:00(\*'-'\*)学校を出発した12人の小学生が荷捌き所に到着。鳥取県栽培漁業センターの職員や4月~11月で今年度の定置網の操業を終えたばかりのとまり丸乗組員たちが笑顔で迎えました。



元気のいい挨拶のあと、漁業センター職員からワカメの生育や収穫時期、種の取り方、巻き方などの説明を受け、2人1組で体験開始。ほどいた種糸を太いロープの目に沿って巻き付ける人、その手元を見ながらタイミングを見で種糸を解きながら回転させる人。説明や見本ではわかっているつもりでも、実際にやってみると難しい。最初はなかなか息が合わず、ゆるすぎて絡まったり、遅かったり早かったりと苦戦していた皆さんでしたが、コツを掴むとあっという間に上達(°ω°)>> 真剣な表情のまま職人のような手さばきでテンポよく進んでいきました。



種を巻き付けたロープは入り江の先へ運び、水深を保つため重りと浮き玉を取りつけて海へと沈めました。あとはミネラル豊富な海水をたっぷりと吸収して大きく育つのを待つばかりです。順調にいくと2月中旬頃の収穫を予定しており、それまでの生育の様子は水面からでも観察することができます。現在全国で流通しているワカメのほとんどは「養殖」で、収穫までの期間を調節し安定供給できるため、年々需要が高まっています。とまり養殖ワカメも現在は冬季限定で出荷していますが“とまりワカメファン”も多く、この時期を心待ちにしておられるようです。

## とまりの自慢を見つけよう 泊の水族館を作りたい!

■泊小学校3年生の総合的な学習の中で「泊の自慢を見つけよう」と提案し、自分たちが生まれた泊を見つめてみようという取り組みが行われました。まずは児童や家族へアンケートを実施。「グラウンド・ゴルフ」「梨」「海」「とまり夏まつり」など様々な答えが出たなかで比較的少数意見であった「魚」に注目することになりました。“泊にはどんな魚がいるのだろう”皆で話し合った結果、「自分たちの手で泊の水族館を作ろう」という声が上がったのです。「やろう!」皆で力を合わせ、早速準備に取り掛かりました。まずは魚をどうするか、水槽で飼育するにはどんな魚が良いのか。鳥取県栽培漁業センターからのアドバイスのもと目標となる魚を決め、11月22日泊港に釣りに出かけました。この日は、ショウサイフグ・アイナメ・カサゴの3種をゲット!水槽は皆に見てもらえるよう児童玄関に設置され、毎日観察をしています。ワカメの種付け体験のあと、児童たちはお世話になった漁師の松田さんに泊の水族館についての経緯を話し、生きた魚を譲っていただけないかお願いをしました。



▲まずは目標!この魚たち

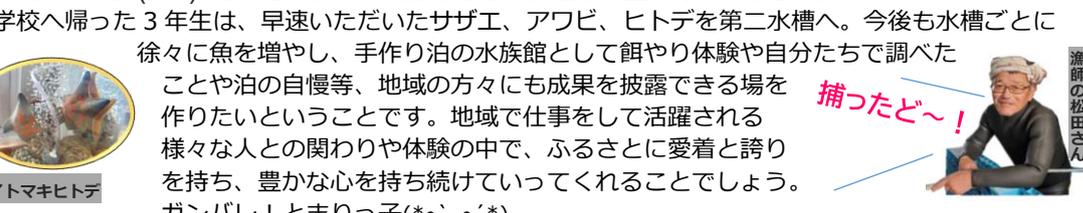


●児童玄関の第一水槽●



●教室近くの第二水槽●

「定置網があればなあ、いろんな魚がおるけ 何とかあったかもしれないけど、今は船を出してないけなあ。サザエやらか?泊の海は魚だけじゃないだでえ。」みんなの顔が少し曇ったのも束の間、表情はパッと明るくなり大拍手が起こりました。「ヒトデもおった方が面白いでないか。そこにおったけちょっと待って」というと松田さんはおもむろに海へダイブ(°ω°)!!あっという間に海底からヒトデを拾い上げてくれました。学校へ帰った3年生は、早速いただいたサザエ、アワビ、ヒトデを第二水槽へ。今後も水槽ごとに徐々に魚を増やし、手作り泊の水族館として餌やり体験や自分たちで調べたことや泊の自慢等、地域の方々にも成果を披露できる場を作りたいということです。地域で仕事をして活躍される様々な人との関わりや体験の中で、ふるさとに愛着と誇りを持ち、豊かな心を持ち続けていってほしいです。ガンバレ!とまりっ子(\*'-'\*)



漁師の松田さん

捕ったど~!



イトマキヒトデ



レストラン吉華 presents さあ、あなたはどれを食べる？

# 魅惑の牛骨カレー ついに誕生！



■今や鳥取県中部のB級グルメとして知名度も高く根強い人気を誇る「牛骨ラーメン」。

最大の特徴は牛脂独特の甘みと香ばしさのあるスープです。起源については満州国からの引き揚げ者が現地の味を再現し、終戦後生まれたという説や 1950年代に米子市のラーメン店で牛骨と豚骨でスープを取っていたという記述があることからレシピを伝える過程で豚骨がなくなり牛骨スープでラーメンを作ったという説など諸説あるようです。いずれにしても、当時比較的手に入りやすく長時間煮出しても出汁が取れる牛骨は庶民にも愛され、幅広く活用されていたに違いありません。湯梨浜町内でも牛骨ラーメンを食べられるお店はいくつかありそれぞれの味を楽しむことができますが、レストラン吉華（湯梨浜町引地/中国庭園燕趙園横）にて、店内メニュー一番人気の「牛骨ラーメン」に加え、イベント出店でも評判の良い「牛骨焼きそば」、さらに(\*´▽`\*)「牛骨カレー」が新メニューとして登場しました。まだまだ可能性を秘めた牛骨出汁。ぜひ、レストラン吉華にて「牛骨三部作」をお楽しみください。



大盛もできます



牛骨カレー 1,000円

優しい香りと共にトロ〜りとしたルーが食欲をそそり、サラダ&らっきょうが嬉しいオシャレなプレートです。一口食べると、「おやっ?!」スパイシーな中に、姿が見えない芋や人参たち野菜の甘みを感じられ、鼻を抜ける瞬間の独特の甘みと香ばしさ♪「いる!確かに牛骨が(\*´ω`\*)」すりおろし野菜とスパイス等を牛骨スープでじっくりと煮込み、お客様へ提供する際の「追い牛骨」でさらに香りをアップした、ここでしか味わえない逸品です。軟らかく煮込んだ牛すじがアクセント。



牛骨焼きそば 800円

アツアツの鉄板から香ばしく立ち上る湯気!踊るかťお節。豚バラ肉と野菜を牛骨スープの脂で炒め、全体に牛骨エキスを絡ませたら、お次はソースでさらに香ばしく(๑\_๑)シャキシャキもやしと、ソースをまとったつややかな麺を口に入れると、途端に牛骨の風味が広がります。モリモリの白ごはんとお吸い物でほっこりできる定食です。



牛骨ラーメン 600円

レストラン吉華一番人気の牛骨ラーメンは、刻みネギ、もやし、メンマ、チャーシュー、かまぼこのシンプルトッピング。濁りのないゴールドのスープとちぢれ麺の相性は抜群です。基本となる牛骨ラーメンが美味しいからこそ変化球メニュー↓↓も ベリーグットなのです。その他、牛骨梅塩・湯梨浜レッド・湯梨浜ブラック・牛骨みそもあります。

★左猛牛ラーメン(注:写真は猛牛ラーメンレベルMAX)/スープが赤いΣ(๑\_๑)!!最近TVで見かけるあのシリーズ?いいえ、辛いだけではありません。牛骨スープの旨味と甘みがちゃんとある!刺激的な辛さがクセになる猛牛ラーメンは只今女性を中心に人気沸騰中なのです。右さっぱり牛骨塩レモン/牛骨の旨味と甘みの中に、レモンの爽やかな香りがすっぱ旨〜いラーメンです。気が付くとスープを飲みほしている美味しさです。



こんなのもあるぞ〜



牛骨 3部作をぜひ食べに来てくださいな〜

吉岡学オーナー

●レストラン吉華● 湯梨浜町引地 560-3  
営 11:00~21:00 不定休  
TEL(0858)32-2633 FAX(0858)32-2634

## ゆりはまアイス試食会① 小林農園いちご編

■湯梨浜町の素材や特産物を使ったアイスクリームを作り、町の魅力と共にPR活動を行っているゆりはまを愛すプロジェクトは、店舗でも手作りジェラートを展開し、ゆりはまアイスの新たな製造元となるアロハカフェ(道の駅はわい内)と協議し、ついに試作品が完成しました。今回メインとなったのは小林農園のいちごのアイスクリーム。試作品は色々なバージョンがありいちごをそのまま使用したシャーベット、アロハカフェが独自にジャムに加工したものを混ぜ込んだシャーベットいちごジャム、小林農園で密かな人気のあるドライいちごを入れたもの、鳥取県産の牛乳を使用したいちごミルク、



ジャム入り、ドライいちご入りなど製造工程や分量等を確認しながらプロジェクトメンバーで試食をしました。いちごそのものの味がダイレクトにくるシャーベットのさっぱりとした味わいに納得。いちごミルクタイプは、地元産牛乳の優しくクリーミーな中にいちごの香りが引き立つまるやか仕上げになっていました。もう少しこうしたい、これにドライいちごを入れたらもっと食感が面白くなるのでは?など(\*´▽`\*)色々な意見が交わされ、意欲に満ちた試食会となりました。生産から加工まで“オール湯梨浜”のアイスクリームを目指してリニューアルの準備をしていきたいと思ひます。



# 大阪⇄鳥取 カニバス運行中

温泉満喫・鳥取砂丘・出雲大社  
バスで温泉に行こう！

●運行期間●2019年12月1日(日)～2020年3月31日(火)  
●料 金●大人4,900円学生・小人4,500円  
※いずれもお一人様往復料金です。片道料金はありません。



## ★お申込み方法★

はわい温泉・東郷温泉にご宿泊のお客様を対象にしたバスですので、バスをみの利用はできません。インターネットで宿泊をご予約されたお客様もお手数ですが、宿泊するお宿にお電話にて「カニバスを利用します」とお伝えください。電話にてかにバス利用申し込み完了となります。

【往路】大阪梅田プラザモータープール(9:30)＝中国道/鳥取道＝鳥取砂丘(自由昼食12:30～13:45)＝東郷温泉(14:30頃)＝はわい温泉(14:45頃)

【復路】東郷温泉9:00＝はわい温泉9:15＝山陰道＝出雲大社(自由昼食・自由参拝12:15～14:15)＝山陰道/中国道＝大阪駅周辺(20:00頃)

【問合】はわい温泉・東郷温泉旅館組合(0858)35-4052

\*\*\*\*\*

# 東郷湖周でスタンプラリー

●期間●2020年1/5(日)～2/29(土)

■湯梨浜情報盛りだくさんの「東郷湖周でスタンプラリー」マップを持って、東郷湖周をまち歩きしよう。町内39カ所のスタンプ押印店舗のうち3つのスタンプを集めて、クジを引くと旬のカニや東郷湖産しじみ、ゆりはまアイス、はわい温泉ミスト、野花梅飲むゼリー、山陰東郷ミニボトル(お酒)、カニの爪ボールペン、入浴剤とタオルのセットなどもれなく湯梨浜のお土産が当たるスタンプラリーや、コンプリートして記念品がもらえる七福神の足湯めぐりもあります。町めしや体験、日帰り入浴情報の紹介ページもあり、存分に湯梨浜を楽しむことができますよ。★ガイドマップは協賛店舗・道の駅・観光案内所・町内観光施設にあるよ～。さあ出かけよう♪



【問合】松崎おもしろ街づくり集団(ゆアシス東郷龍鳳閣内)  
(0858)32-2622

\*\*\*\*\*

# 湯梨浜町 PR 大使 谷本耕治

★湯梨浜町出身歌手谷本耕治さん 全国で活動中！スケジュールや近況、温かく人情味あふれる耕ちゃんのプロ「人生相場」は要チェックだよ♪

<https://ameblo.jp/koji-tanimoto/>

(問合) タニテップロ合同会社 TEL/FAX 03-3361-3455



# ベッドの客室ができました

カニとしじみ料理が人気のお宿

はわい温泉  
民宿鯉の湯

■リピーターが多く特に11月からの松葉かにシーズンに人気が高いはわい温泉 民宿鯉の湯の客室がリニューアルしました。長年鯉の湯をご愛顧いただいているお客様からの声や、外国人観光客の方にも安心して利用していただけるよう全6室のうち3室にベッドを導入。

もちろんアットホームな民宿のおもてなしは健在！朝食のしじみのお味噌汁は濃厚で旨味たっぷり♪宿自慢の逸品です。それもそのはず、現役しじみ漁師である鯉の湯のお父さんが毎朝東郷湖から捕ってきたものなのです(\*'◇`\*)  
東郷温泉 はわい温泉には12軒のお宿(旅館組合加盟)があり、皆さまのお越しを心よりお待ちしております。



▲全6室のうち和室3  
洋室ツインルーム3

【問合・予約】はわい温泉 民宿鯉の湯  
〒682-0715 湯梨浜町はわい温泉 35-2  
TEL(0858)35-3226 FAX(0858)35-5117



## 燕趙園エリア★まとめて満喫コース



おススメコース 9:00 中国庭園燕趙園 (9:30の雑技ショー & 10:00の中国獅子舞公演観覧) →老龍頭でティータイム & お買い物 → 11:00 道の駅燕趙園ふるまいゲット & お買い物でガラポン → 豊味園で中華バイキング (3日間限定特価) → ゆアシス東郷龍鳳閣日帰り入浴でビンゴ

【中国庭園燕趙園】お年玉企画がもりだくさん

★1/1～1/3 までの3日間おみくじを引いてその場で景品が当たるキャンペーンを実施します。(入園1名に対して1回) 1日は中国獅子舞公演があります。(10:00～/14:00～)

TEL (0858) 32-2180

【道の駅燕趙園】お正月のふるまい&ガラポン抽選会

★1/1 11:00～赤エビお吸い物ふるまい  
★1/2 11:00～手作りぜんざいふるまい  
★1/3 11:00～餅つき大会&餅花づくり  
3日間は、お買い上げ1,000円につき1回ガラポン抽選。福袋も販売します♪ TEL (0858) 32-2184

【ゆアシス東郷龍鳳閣】新春あがりビンゴ大会

★1/1 15:00～有料入館者(入浴・売店)を対象に地元特産品が当たるビンゴ大会を開催。12/31、1/1 11:00～15:00 ゆとろぎスペースにて飲茶レストラン OPEN  
※2日間はゆとろぎ休

★1/1～1/3 までの3日間は、次回から使える入浴特別割引券を進呈します。空クジなしの抽選もあります。

TEL (0858) 32-2622

## はわいエリアもチェック

【ハワイゆ～たうん】新春お年玉抽選会

★1/1～1/3 までの3日間、お風呂を利用されたお客様を対象に、干支の置物やゆ～たうんオリジナルタオルなどが当たるお年玉抽選会を開催します。

TEL (0858) 35-4919